

## 【過去5年間の障害者差別解消支援地域協議会の主な取組】

### ＜平成 29 年度＞

- (1) 新天町商店街において、障害者差別解消と補助犬の理解について、特別住民票を交付した盲導犬とその利用者とともに啓発活動を実施。
- (2) 「障害者差別と配慮の事例集」の発行

### ＜平成 30 年度＞

- 聴覚障害者が単独でのスポーツクラブへの入会を拒否された事案の対応
- ・差別的な対応をしないよう指導
  - ・聴覚障害者の受入れを行っている他のスポーツクラブの事例を紹介
  - ・市内のスポーツクラブにも、聴覚障害者に対する差別的取扱い事案の改善について、文書にて周知

### ＜令和元年度＞

- 市内の公衆浴場において視覚の障害を理由に、大浴場の入浴を拒まれた事案の対応
- ・差別的行為であることを申し入れ
  - ・支援方法など、障害者が安全に入浴施設を利用できるかを障害者及び介助者と協議いただくよう依頼
  - ・安全確保の面から止むを得ず入浴を断る際には、相手への丁寧な状況説明及び代替案を提案するなどの配慮していただくよう依頼
  - ・市内の各公衆浴場に、同じような対応をすることのないよう文章にて周知

### ＜令和2年度＞

- 「障害者差別と配慮の事例集」の改訂

### ＜令和3年度＞

- 知的障害について不動産店に障害のことを理解してもらえず入居ができなかった事案、聴覚に障害がありコミュニケーション手段が手話の人が医療機関受診や車両運転中にパトカーに停止を求められた時に一方的な筆談により状況理解ができなかった事案の対応
- ・山口県宅建協会宇部支部、宇部市医師会、山口大学医学部附属病院、宇部警察署に、事案の改善について、文書にて周知